

## 「鶴岡市教育大綱(案)」に対する意見公募 藩校致道館の理念は、封建的な価値観



新入生10人の渡前小学校入学式が9日、行われました

市民から、『藤島地域の小中一貫校問題』についての文書が、地域活動センターを通して寄せられました。

A4用紙2枚分の、初めと終わりの一部を紹介します。

本題について市役所ホームページから資料を閲覧し読んでみた。

率直に言って少し乱暴な感じがする。

広島の高市や東京三鷹市など先例があり、国がこれらを基に教育行政？を策定し、全国推進を始めたところから話が出ているが、藤島地域の話としては中学校の耐震問題から校舎建て替えの話に進み、ならば一緒にこの話を含めてはどうか？そんな流れが見える。

会議記録や、提言などを読むと、藤島地域の子どもたちにどんな問題（課題？）が発生していて、それらを解決できる方法（施策）としてどのような事が考えられ、それらの先進事例があって、その内容を考えると校舎建替に合わせて9年間に移行した方が、「子どもたちの資質、学力の向上」と「情操豊かな人間」の育成に資する。と、判断しているとは、どこにも書いてない（いや！読めない！）。

色々と回りくどく、公文書らしく書いているため、どのようにも捉えられる表現になっている。従って、良く分からない。

結論は校舎改築が迫っているので、先ず藤島から実験してみても（モルモット？）と導き出されている。・・・

・・・

離れ島の小さな学校、複式学級からは良い子（生き生きとした個性を発揮する）は育たないのか？、東京の日比谷や中野、関西の灘の子どもは将来役に立つ、立派な子どもしかいないのだろうか？

いずれにしても、藤島地域の小中一貫校問題は、校舎の建替え問題に紛れ込んだ拙速な議論にしか見えない。

落ち着いて考えれば、今の日本は、庄内だけに限らず同じ問題を抱えている。子どもが減少している。つまり人口が減っていることが全ての主要因です。

子どもを増やすには、・・・生みたくなる、その前に結婚したくなる社会にする、社会をつくる事が先。

住民の心、社会の共生心が薄れた社会に子どもは増えない、不安が渦巻く社会で婚姻は増えない。

従って、人口は増えないし、喜びの少ない社会、物欲だけが渦巻く競争社会。今はそのまっただ中にある。（一市民）

鶴岡市のHPに、「鶴岡市教育大綱(案)」に対する意見公募（パブリックコメント）の結果（16人から69件）が掲載されました。そのうち、注目の1件を紹介します。

1、「藩校『致道館』の理念に基づく教育風土」というのは、時代錯誤である。

市教委の意見は、中教審答申を引き、「藩校致道館で行われていた教育に通ずるものがある」と考えます。ICT機器を活用するなど方法は当時と異なりますが、根本的な理念は今も昔も変わらないものと認識しています。」と掲載。

① 藩校致道館は、「藩士の風俗みだれ、役人はやかもすれば私の事を為し、賭博、遊所でみだりなふるまい

② 藩校致道館の目的・意義は、封建時代である江戸時代の庄内藩武士（中でも御家中と言われる上級武士）の子弟等の教育を進め、風紀の刷新と庄内藩を担う役人・為政者を養成することにあり。当然、農民漁民や商人等の大多数の庶民を教育する機関ではなく、3Rの寺子屋であった。

③ 藩校致道館の理念は、中国から伝わった儒教の但徠学つまり封建的な価値に基づくもので、今の社会の考

えのもとになっている民主主義の価値とは相いれないものである。

④ 現行の鶴岡市教育大綱にある「致道館教育の理念である『自学自習』『天性重視』『心身鍛錬』」とのものは、理念ではなく藩校致道館の教授法（『鶴岡市史 上巻』369-370頁参照）である。つまり、理念ではなく教育の方法である。・・・

# 堤未果『国民の違和感は9割正し』

堤未果著『国民の違和感は9割正し』（PHP研究所3月27日）が、発売1週間で累計発行部数は5万部を突破していると言います。「ニュースを見ると、何だかモヤッと引くかかる。」

大富豪たちが大量に売り逃げる中、日本国民に新NISAで米国株？

被災地が苦しんでいるのに外国に1兆円？

「違和感の正体と身を守る秘策を明かす！」

カラクリを見破る痛快な本です。

目次から少し拾うと、  
・災害ショックドクトリン―危険な閣議決定



はこっそりと

・原発事故が起きたら逃げ場がない

・危険物の山と化した太陽光パネル

・防衛費のために通信インフラ売ります―NTT民営化

・報道されないもう一つの「裏金システム」

・ガザにある宝の山をみんな狙っている

・ウクライナ紛争で、資源ゲームの参加者が

一気に増える

・ゆうちょ、年金、次は新NISAで預貯金いただきます

・日本を降伏させるには海上封鎖だけで十分

・大事な農地がどんどん売られる

・大きな悪事を、一般人に気づかせないテクニック

・日本でもSNSの言論統制が始まる!?

## 東田川史跡物語

『駐鑾之碑』調査のまとめ―『藤島町の石造文化財』の補充②「廣群鶴刻字」

青山 崇



碑石についてである。石にはそれぞれの質がある。例えば地元の金峯山系で取れる金峯石は、古来より石垣、墓石などに利用してきた。旧鶴岡城、当碑基壇の石垣も金峯石である。本碑が建てられた明治期は、記念碑石として主に仙石(松島砂岩)が使用され、本碑も仙石である。柔らかく刻み安く風化しない石質を持つと言われている。

北山・渡部両氏によって、当碑の銘文は「書従五位長装書」で終わるとされてきたが、そ

の左側に「廣群鶴刻字」(右写真)の5文字があることが発見された。これによって廣群鶴が刻字者であることが分かった。

この群は、偏の君と隣の羊からでき、普通は君を左に羊を右に書いて群としている。しかし、「遊び」を入れて、君を上羊を下にしたのでしよう。

さて廣群鶴はどういう人なのでしょう。江戸谷中にいた。寛政(1789~1801)の頃より江戸随一と名をは



国民のケジメは

先週は、日本の国をダメな国にした事を2つ記したが、ダメな国にした張本人・岸田首相が、ダメな子分39人を裏金問題で処分した。しかしこの処分とやら、首相の発表はそれまで新聞・テレビで知らされていた通りのものでは、マスコミ辞令みたいじゃないの? ▲それでも、納得できないと騒動になっていくところも。それは、処分される本人から見れば、それぞれ言いたいことがあるということなんだろが、ならば、首相が何回かやったという調査はなんだったんだ。

▲なんにしても首相にすれば、国民に格好いい処を見せて早く幕引きをしたいんだらう。

でも、喜々として肩を抱かれに米国に行ける・という事ではないよ

せた石工・初代廣瀨群鶴が江戸谷中にいた。

石屋の屋号は「群鶴」、御碑銘彫刻師としての号を「廣群鶴」、実名は「廣瀨群鶴」。初代は江戸中後期の寛政年間の人、その後9世が、その技術を継承し、明治・大正・昭和と活躍し、昭和31年廃業した。

「群鶴」は、「風神雷神図」などで有名な尾形光琳の「群鶴図」(左写真)を石版画で描いていることから借用したのであろう。

うだから、帰っては、その処理にまた頭を痛める事必定という処。

▲国民からすれば、処分の前に肝心の、アベがやめようと言った裏金を、誰が続けると言いついて続てきたのか。首相は、それをあの御大に確認をしたのか。それらの裏金は何に使われていたのか。明らかにされないことに納得がいかないんだ。だから幕引きなんてトシデモナイ事サ。

▲気に食わない処分を受けた処で、次に当選という事になれば襖(みくき)は終わったと元に取り、前と同じ事をするんじゃないの? なら企業団体献金は禁止にすべし。▲でも、地元選挙民にお願いだ。そんな議員には何も期待するな。選挙で落とせ・というお願い。首相の処分は、党の中のケジメだ。国民としてのケジメは落選という形で付けて下さいヨ。ね。(石川)